

連絡先:システムエンジニアリング部 電話03-3505-2924 E-mail:photog-cad@jacic.or.jp

番号	掲載日	いただいたご意見、ご要望等	回答及び実施状況等
1	H28.6.27	測量会社でなら利用の価値があるかもしれないが、コンサル会社では利用しない	Photog-CADは、多くのコンサル会社に購入していただいています。 Photog-CADは、写真測量技術を用いて、横断図の作成や災害総合単価による復旧工法の検討、展開図の作成、数量計算を行うことができます。 コンサルタント会社が行う業務の支援を行うことができるソフトウェアです。
2	H28.6.27	熊本県は災害を重要視しているのので、活用できるのではないかと。	Photog-CADは災害査定設計書を効率的に作成する支援ツールであり、災害時に活用できるものと確信しております。 4月の熊本地震に対しても、無料貸し出しや操作者の派遣等の支援を行っているところです。
3	H28.6.27	写真から生成される3D図面の精度が向上されれば、災害復旧だけでなく他の設計にも活用が可能と思われる。	災害復旧以外でも活用できる可能性はあります。 例えば、造成工事等の切り土・盛土の出来高管理、法面の面積計測、配筋の出来形確認等です。 現在、3Dモデルの出力機能の改良を進めており、H28年8月にはリリース版を販売する予定です。
4	H28.6.27	災害査定の作業については、TSで測量してテープを貼って写真を撮ることが多い。 新技術を使った査定作業も県から自治体に話が伝わっていないので、従来の方法で作業をしなければならず効率が上がらない。	Photog-CADは、「災害手帳」や「災害査定添付写真の撮り方」に写真撮影が大幅に簡素化できる場合もあるため活用を検討することと記載されています。 また、自治体に対しては、Photog-CAD講習会や説明会を開催し、Photog-CADの活用について理解が深まるよう普及・啓発に努めています。